

1 学校教育目標

豊かな心をもち、たくましく生きる下関っ子の育成

2 本年度の重点目標

思いやりの心をもち、進んで行動する子供の育成

【知】 学び合う子…自分の考えをもち、学び合う子供

【徳】 やさしい子…思いやりの心をもち、認め合う子供

【体】 つよい子 …進んで健康づくりに取り組む子供

- ② … あいさつを交わそうとする下関っ子
- ③ … さそい合おうとする下関っ子
- ④ … がんばろうとする下関っ子
- ⑤ … おもいやりの心をもつ下関っ子

3 学校運営の方針

(1) 安全で安心して過ごせる環境を整える。

- ・気持ちのよい挨拶や言葉遣い、教室の整理・整頓、創意を生かした掲示の工夫等、安心して過ごすことができる「居場所」づくりに努める。
- ・「報告、連絡、相談、確認」の日常化や初期対応を重視した迅速な対応に努める。また、危機管理のアンテナを高くし、課題の未然防止・早期発見、早期対応に努め、チームとして課題に取り組む。

(2) 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育む。

- ・「とやま型学力向上プログラム（Ⅲ期）」の視点を生かした授業改善に取り組み、児童の思考力、判断力、表現力等の育成を図る。
- ・ねらいを明確にした授業づくりに努める。
- ・課題解決学習、ＴＴ、少人数指導、ＩＣＴの活用等、指導法や指導形態等を工夫し、「分かった」「できた」を実感できる授業の実現に努める。
- ・自己決定する機会や互いに関わり合う機会を意図的・計画的に設けるなど、主体的・協働的に学習に取り組めるようにする。
- ・家庭と連携し、学習習慣の定着を図る。
- ・読書活動や音楽活動の充実を図り、生涯を通して学び続け、人生を豊かにする力の基礎を築く。

(3) 「いのちの教育」を基盤とし、自他を大切に作る豊かな心を育む。

- ・教師と児童、児童同士の触れ合いを深め、互いのよさや違いを認め合う、学び合う温かい人間関係づくりに努める。
- ・異学年交流の場を積極的に取り入れ、一人一人が自己存在感や自己有用感が味わえるようにする。
- ・「特別の教科 道徳」の充実を図り、自己の内面を見つめ、道徳的価値を自覚し、行動できるように働きかける。

(4) 児童の健康増進と体力の向上を図る。

- ・心身の健康について学ぶ機会を充実させ、家庭・地域と連携して望ましい食習慣や規則正しい生活習慣を確立させる。
- ・運動の楽しさや喜びを味わえる活動を工夫し、進んで体力づくりに取り組もうとする態度を育てる。

(5) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進する。

- ・各種研修会を通して教師の専門性を高めるとともに、校内委員会を中心に児童の実態を把握し、個に応じた支援の充実を努める。
- ・保護者の願いを受け止め、寄り添いながら個別の支援を充実させ、学習や生活上の困難の改善・克服を図る。

(6) 郷土愛を育み、信頼される学校づくりに努める。

- ・地域の特色や人材を生かした地域学習を充実させ、ふるさと高岡（下関）への愛着と誇りを育む。
- ・学校の運営方針や活動状況等を積極的に発信し、保護者、地域住民の願いを随時教育活動に反映させるなど、地域ぐるみで児童の健全育成に努める。
- ・小中一貫教育の視点をもち、互いの教育活動や目指す子供像について共通理解を深めながら連携することで、円滑な学びの接続を図る。